

2017年度コラファス賞 受賞おめでとうございます

■ 大塚 慎平 さん・持田 啓佑 さん ■

上記2名の方々が、2017年度コラファス賞を受賞され、
9月15日の授賞式で三原学院長から賞状を授与されました。



大塚慎平さん

持田啓佑さん

■ 受賞論文タイトル ■

Molecular Mechanism of Porphyrin Metabolism in Hypoxic Tumor-Microenvironment
大塚 慎平さん 生物プロセス専攻 小倉研究室 (2017.3修了)

Study on Selective Autophagy in Budding Yeast
持田 啓佑さん 生体システム専攻 中戸川研究室 (2017.9修了)

■ コラファス賞とは ■

1982年スイスの科学者、Dimitris N. Chorafas氏によって設立された賞で、バイオテクノロジーを含む化学の様々な分野の研究を対象とし、若い研究者への援助を目的としています。応募条件は当該年の1月から12月の間に博士の学位を取得ないしは取得予定であること、かつその年の12月31日の時点で32歳以下であることとなっています。我校は世界15カ国26の協力校のひとつになっており、学内で1~2名を選考して候補者として推薦し、ほぼ毎年受賞しています。

次回Chorafas Prize 2018への応募は、2018年2月中頃に学院長から研究室教員向けに、メールで呼びかける予定です。2018年が卒業年となる博士課程のみなさん、コラファス賞は、国際的な評価を得るチャンスです。学生時代の総括として自分の研究成果を世界にアピールしてみませんか。ご応募をお待ちしております。